

広報誌「ふくでん」の発行に寄せて



千葉県保護観察所
所長 合田 憲生

千葉県婦性会の広報誌「ふくでん」の創刊を心からお祝い申し上げます。

今更申し上げるまでもなく、更生保護施設の運営は、地域社会や支援者の理解と支持を得て成り立っています。そして理解と支持は、更生保護施設の収容保護の状況、処遇の実際、設備や経営の状況など運営全般について情報が迅速かつ幅広く伝えられて初めて成り立つものだと考えております。したがって、「ふくでん」が婦性会と役員、評議員を始め賛助会員や寄付者などの支援者あるいは地域社会を繋げる大きな力となることを心から祈念しております。

ところで、私も保護観察所にも更生保護施設の広報誌がいくつか届けられております。頻繁に発行されているもの、行事の写真を多く取り入れ生き生きと視覚に訴えるもの、施設の役職員の考えや取り組み方が明快に示されているもの、などなど、いつも敬服しながら拝読させていただいております。いずれにせよ継続して発行することは、非常に根気と労力を要することであり、頭の下がる思いです。

「ふくでん」が今後とも息長く読者に愛され、手元に届くことが心待ちにされるような広報誌になることを心からお祈りして、刊行のお祝いの言葉とさせていただきます。

千葉県保護観察所 更生保護振興課のご紹介

更生保護振興課長



長沼 秀明

婦性会で（元）在会者によるトラブルがあり、110番通報し、対応に苦慮している時に、課長さんが先頭に立って来て下さり最後までお世話になり助かりました。深く感謝申し上げます。

保護観察官（主任官）



池野 英樹

婦性会の担当をされて3年目です。毎月1回、在会者が仕事から帰ってからの午後6時過ぎから面接、その内4回は、当会で宿泊されて面接と

早朝の彼らの仕事にでる前の状況視察等をされます。

彼らの自立のための貯蓄の奨励に力をいられ、婦性会の運営全般について暖かいご指導と鞭撻を頂いています。

安心して受け入れることができます。感謝申し上げます。

婦性会の仏様

生命犯での長期受刑者で仮釈放になって来た人が主にお参りしています。

